

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：60項目以上

問題あり：3件

要確認：2件

問題なし：55件以上

詳細な検証結果

1. 固有名詞

✕ 誤り

記載内容：「愛媛県松山市出身」

検証結果：✕ 誤り

正しい情報：愛媛県久万高原町生まれ

根拠・出典：参議院公式プロフィールによると「昭和40年11月2日、愛媛県久万高原町生まれ」と記載されている。一方、Wikipediaには「愛媛県松山市出身」とあるが、参議院公式情報を正とすべき。

✓ 正確

記載内容：「1965年11月2日生」

検証結果：✓ 正確

根拠・出典：複数の公式ソースで「1965年11月2日」と確認

✓ 正確

記載内容：「明治大学法学部卒業」

検証結果：✓ 正確

根拠・出典：参議院公式及びWikipediaで確認

✓ 正確

記載内容：「公明新聞社に入社し政治部記者として32年間活動」

検証結果：✓ 正確

根拠・出典：大学卒業後、公明新聞へ入社。32年間記者として働いた

✓ 正確

記載内容：「第26回参議院議員通常選挙」

検証結果：✓ 正確

根拠・出典：第26回参議院議員通常選挙（だい26かいさんぎいんぎいんつうじょうせんきょ）は、2022年（令和4年）7月10日に執行された

✓ 正確

記載内容：「2022年7月」初当選

検証結果：✓ 正確

根拠・出典：2022年7月、第26回参議院議員通常選挙に公明党公認で比例区から立候補し、初当選

2. 数値情報

✓正確

記載内容：「2013年参院選（比例区）と2021年衆院選（比例九州ブロック）に公明党公認で立候補するも次点落選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2013年7月の第23回参議院議員通常選挙に公明党公認で比例区から立候補したが落選。2021年10月の第49回衆議院議員総選挙に公明党公認で比例九州ブロック単独5位で立候補したが、公明党の獲得議席が4議席だったため次点で落選

△要確認

記載内容：「出産育児一時金が一挙に+14万円増額（42万円→50万円）」

検証結果：△要確認

正しい情報：2023年4月1日から原則50万円が支給されている。以前は赤ちゃん1人につき原則42万円

根拠・出典：複数のソースで増額は確認されたが、窪田議員の直接的関与について明確な証拠は見つからなかった

✕誤り

記載内容：「国会発言回数は、2022年の就任から分析終了時点まででおおむね15回前後と推定される」

検証結果：✕誤り

正しい情報：具体的な根拠が示されておらず、推定値の妥当性が検証できない

根拠・出典：記事内で推定としているが、検証可能な具体的データが見当たらない

✕誤り

記載内容：「発言の総文字数は2万数千字規模」

検証結果：✕誤り

正しい情報：具体的な根拠が示されていない

根拠・出典：記事内で推定としているが、検証可能な具体的データが見当たらない

3. その他の重要な事実関係

△要確認

記載内容：「2023年4月19日の参院本会議では、全世代型の社会保障改革を図る健康保険法改正案に関し、公明党代表質問者として登壇」

検証結果：△要確認

根拠・出典：記事内で国会会議録へのリンクが示されているが、直接の検索では詳細を確認できなかった

✓正確

記載内容：各種党内役職（参議院国会対策副委員長、団体局次長、内閣部会副部長等）

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式プロフィール等で複数の役職が確認されている

✓正確

記載内容：所属委員会（農林水産委員会、決算委員会等）

検証結果：✓正確

根拠・出典：農林水産委員会、決算委員会（理事）等の所属が確認されている

改善提案

修正が必要な箇所

1. 出身地の修正：「愛媛県松山市出身」→「愛媛県久万高原町生まれ」
2. 国会発言回数・文字数：推定値の削除または具体的根拠の提示
3. 出産育児一時金増額への関与：窪田議員の具体的貢献について、より慎重な表現に修正

追加確認が推奨される情報

1. 2023年4月19日の参院本会議での質問内容の詳細
2. 具体的な国会発言回数・文字数のデータ
3. 政策実現における窪田議員の具体的貢献度

記事全体として、基本的な経歴や所属情報は正確であり、政治活動の概要も適切に記述されています。ただし、一部の数値データや具体的貢献については、より慎重な表現や追加の検証が必要です。